

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

古市小	学校
-----	----

児童数	88
-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.98	19.43	30.25	38.43	49.18	9.38	152.53	19.95	51.15
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	16.47	20.85	38.21	38.85	40.00	9.62	155.32	13.47	56.72
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

- ・体力の合計点は、男子が51.15で、大阪市とほぼ同点で、全国より1.44点低かった。女子は、56.72で、大阪市より4.02点、全国より2.39点上回った。
- ・「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問に対しては、男子は82.5%で大阪市や全国よりも約9.5%以上肯定的な回答であった。女子は、48.9%で大阪市や全国の肯定的回答より約5%下回っていた。
- ・「1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合」は、男子が大阪市12.5%、全国9%、本校は5.2%であった。女子が大阪市18.2%、全国15.3%で、本校は12.7%であった。男女とも60分以下の児童の割合は大阪市や全国よりも低く、本校の児童は60分以上運動をしている割合が高いことが分かった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校の第5学年の女子は、低学年の頃から体育で学習した内容（鉄棒やなわとび）を、休み時間でも練習している様子が見られていた。「できるようにになりたい」と努力する児童が多く、その結果各種目の平均点が、大阪市や全国よりも上回っていると考えられる。一方、男子は、「運動することが好き」と回答する児童の割合は8割以上が肯定的であるが、学習した内容を習得するより、自分たちの好きな遊び（鬼ごっこやボール遊び）を楽しむ傾向にある。そのため、「50m走」や「20mシャトルラン」の記録は大阪市や全国よりも記録が伸びているが、体力合計点は全国平均より低い結果となっている。

今年度から、コロナ禍以前のように、朝や放課後遊びができるようにしている。その結果、学校全体として外遊びに興じている児童の割合が増加している。しかし、遊びの内容には偏りがあり、ボールを投げる遊びより、手打ちで地面に叩きつける「てんちょう」という遊びが本校の児童には人気があり、例年課題である「ソフトボール投げ」の記録は伸び悩む傾向にある。どのような遊びが、児童を夢中にでき、運動能力や体力の向上に発展できるか校内で検討が必要である。

また、5年生女子のように、「できるようにになりたい」と意欲を高め練習する児童を増加できるような、体育科の授業づくりも研究していく必要がある。